

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	がん薬物療法起因性末梢神経障害に対する運動療法:A 病院における多職種連携の取り組み
研究責任者	看護部 柴崎幾代
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025 年 1 月
対象者	2024 年 3 月から 2025 年 1 月までに以下に該当する患者さんです。 ①外来化学療法でパクリタキセル、アルブミン懸濁型パクリタキセル、オキザリプラチン、ビンクリスチン、トラスツズマブエムタンシンの投与を受け、CIPN の評価が NRS7 または日常生活への支障がある以上の患者さん ②CIPN のリハビリ目的で支持医療科へ対診された患者さん ③CIPN のリハビリを受けている患者さん
研究の意義・目的	がん薬物療法起因性末梢神経障害 (CIPN) は日常生活動作や生活の質の低下をきたす症状の一つです。その予防法や治療法は確立されたものがない現状があります。A 病院では CIPN の発症リスクがある薬剤を投与する前に医師が患者へ発症リスクを説明し、診察で経過を見ています。薬剤師は服薬指導や発症時は医師へ処方提案をしています。最近では CIPN の症状緩和には運動療法の効果を示した報告が増えてきています。A 病院では CIPN 対策の一つとして 2024 年 3 月より CIPN のリハビリの運用を開始しました。リハビリへつながる一つの流れは化学療法室看護師がパクリタキセル、アルブミン懸濁型パクリタキセル、オキザリプラチン、ビンクリスチン、トラスツズマブエムタンシンの投与を受けている患者の末梢神経障害の程度を評価し、重症の場合は主治医へ報告し、支持医療科を受診後リハビリがオーダーされます。もう一つの流れは主治医や支持医療科医師が診察時にリハビリが必要と判断した場合です。本研究の目的は CIPN のリハビリを受けた患者に関連した多職種の行動の実態を把握し、今後の課題を抽出することです。それを材料とし、今後の多職種による患者支援体制を再考するために意義があると考えます。
研究の方法	対象者について、診療録より患者の①~⑥を情報収集し、個人が特定されないように記号化して分析します。対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 ① 対象患者の年齢、性別、癌腫、リハビリオーダー時の病期、 ② 対象患者の支持医療科への対診状況と転帰 ③ 末梢神経障害の原因薬剤とその投与期間 ④ 末梢神経障害の程度 ⑤ 主治医の行動 ⑥ 支持療法薬と薬剤指導の有無

	<p>⑦ 看護師指導の有無</p> <p>⑧ リハビリ内容</p> <p>⑨ リハビリ評価(NRS,FACT,BBS,HADS,SF-36, CAS-CIPN,握力,筋力)</p> <p>⑩ 患者の行動の変化</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
個人情報開示に係る手続き	<p>個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。</p>
資料の閲覧について	<p>ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
問い合わせ窓口	<p>聖隷浜松病院 外来看護 (氏名) 柴崎幾代 TEL:053-474-2222(代表) 外来看護 9:00~17:00 平日</p>